

## 中国 香港特別行政区 UWC香港校 荒木さん

留学期間：H30(2018).9~H32(2020).6(2年間)

昨年8月、UWC 香港校にご縁をいただき、才気溢れる友達と切磋琢磨し合いながら、ハードな生活を過ごしております。

留学先において、私が最も衝撃を受けたことは、ほかの生徒たちの英語力でも、日本



授業の様子

とは大きく違う学校のシステムでもなく、「世界はとても広かった」ということです。小さなコミュニティで15年間過ごしてきた私は、いつの間にかそれに応じた見方・考え方にとらわれ、世界をととても甘く見ていました。上位の成績を取っていた自負もありますし、課外活動でも、全日本ジュニアクラシック音楽コンクールに第3位で入賞するなど全国規模の成績を修めた自信もありましたが、いつしかそれが傲慢になっていたと思います。UWCにおいては、僕よりもはるかに頭のいい生徒たちが、多様な能力を生かして、香港社会と日本社会の結びつきの強化に貢献しており、僕が持っていた自信は、完膚なきまでに打ち崩されました。「世界には、まだまだ自分なんかよりすごい奴らがいる。」それを身を以て知る機会にもなりましたし、また改めて謙虚になろうと意識するきっかけにもなりました。

勉強面においては、なれない言語での授業や、日本と大きく異なるシステムに戸惑いながらも、少しずつ成果が現れています。予習や復習を徹底したり、周りの生徒に勉強法を教えてもらい、日本では決して学べなかったものを吸収して、好成绩で卒業できるよう、奮闘しています。特に、日本の高校では学べない経済学においては、数学的視点、また心理学的視点という未知の領域に挑戦し、様々な書籍やインターネット、先生方や生徒に質問の場を求め、確実に知識を吸収しようとしています。

香港留学において、自分が反省しないといけないと痛感したものが、「一つのことに集中しすぎたこと」になります。香港にきてすぐの時は、勉強して追いつかなければいけない、いい得点を取って奨学金や応援の言葉に報いなければいけない、といった気持ちから、察に閉じこもって勉強ばかりをしていました。しかし一向に成績は伸びず、焦燥感や絶望感が増すばかりでした。しかしそんなある日、友達に言われた言葉は、「なんでそんなに勉強ばかりしてるの?」でした。わたしは、当時の自分の気持ち、背景などを打ち明けま



ルームメイトと

した。すると、友達は意外なことを言ったのです。「英語をもっとうまく話せるようになりたいなら、みんなと遊んで会話をしたほうが早いぞ。」私は信じられませんでした。ほかに方法も思いつかなかったので、実践してみることにしました。すると、不思議なことに、今までなんども聞き取れなくて聞き返していた日常会話が、簡単に頭に入ってくるようになり、自分でも初めて自分の英語力の上達を実感しました。今まで、会話のような実践形式ではなく、単語や文法の暗記を重点的に学習する日本の教育スタイルしかやってこなかった自分は、この変化に大変驚き、「やってもできなかった時は、やり方を見直して新しい方法を実践してみるといい」ということを学ぶことができ、世界観がまた一つ変わって行くことを実感しました。UWC ライフもまだまだ始まったばかり。皆様のおかげで、私はもっとたくさんのことを学べそうです。2nd term も、皆様の恩をいつか還元できるよう、粉骨砕身、頑張ってみます。